

実践レポート

大学内における学生の正課外活動への支援体制と課題

— BBP での実践を題材に —

カンダボダ P.B・石川 涼子
筆内 美砂・村山 かなえ
羽谷 沙織

要 旨

本稿は、2017年度に発足した Beyond Borders Plaza（以下、BBP）の取り組みのうち、教員の支援体制を基にした実践知を共有することを目的とする。本取り組みは、立命館大学内における学生の国際交流や、言語と文化に関する学びを促進する体制を一層充実させるために2018年度からは全キャンパスでスタートした。BBPは学生の正課外における主体性を高めることを目指し、教職員でサポートしながら実施している。本稿では、BBPの活動蓄積から見えた学生の正課外活動の取り組みを概観し、課題と今後の展望に関して報告する。BBPにおける取り組みを通じて得られた知見は、教室外での実践を教室内の学びに結びつけることで、立命館大学独自の学びのモデル構築に結びつけたい。

キーワード

Beyond Borders Plaza、正課外活動、学生の主体性、ピアサポート、国際交流支援、教員の支援

1. はじめに

Beyond Borders Plaza (BBP) は、学生の言語・文化・専門・回生等を超えた外国語学習支援と国際交流活動を促進する目的で新しく始められた取り組みである。BBPは、学びの立命館モデル具体化委員会が2016年に明確化した課題のうち、二つの課題の具体的推進を目指して設置された¹⁾。第一は授業外での学生の外国語学習支援であり、これは言語教育センターを中心にSALSA (Self-Access Learning and Support Area) 構想として検討されてきた。第二はキャンパス内での学生同士の国際交流支援であり、これは国際部を中心に検討されてきた。これら二つの機能を融合させた学生支援拠点としてBBPは開設された。BBPは、まず2017年度に大阪いばらきキャンパス（以下、OIC）にて先行して運営を開始し、続いて2018年度からは衣笠キャンパス（以下、KIC）、びわこ・くさつキャンパス（以下、BKC）にも開設され、全キャンパスで展開される取り組みとなった。運営・管理は、教学部・言語教育企画課と国際部および国際教育推

進機構の教職員が実施している。本稿では BBP で実施されている取り組みのうち、国際教育推進機構教員が担う学生支援体制、交流活動の実態、実績から得た知見と課題に焦点をあてる。国際交流に関する学生の正課外活動の支援と課題を考察した上で、立命館大学のさらなるグローバル化を促進するための将来を見据えた展望を示す。

1.1 BBP 設置背景と目的：グローバルな学びの環境の拡充

BBP が担う立命館大学の国際化の中でも、国際部および国際教育推進機構が BBP を通じて目指すのは、学生の海外留学支援と所属や文化を超えた学生の交流支援である。立命館大学は 2014 年にスーパーグローバル大学創生支援事業に採択され、国内学生²⁾の海外派遣留学と留学生の受け入れを大幅に増加させるとともに、学生が授業以外でもグローバルな経験ができる仕組みの整備を目標として掲げた。立命館大学は、国際化に力を入れてきているが、これまでの経験を踏まえて BBP では次の二点を実現することが目指された。まず、学生の海外留学支援については、留学先の検討・留学決定後の渡航準備・留学終了後のそれぞれの段階で、教職員や留学経験者から必要な支援が受けられることを基本構想とした。また、国際交流支援については国内学生と留学生が集い、お互いを知り学び合うための様々なイベントを実施する場となることを目標とした。

いずれの支援に関しても重視したのは、学生がお互いに学び合い、支援し合うことで学生の成長を促すピアサポートである。立命館大学には、BBP 開始以前から海外留学支援や留学生支援に携わる学生団体が存在しており、これらの団体の協力を得て、BBP を学生主体の場とすることが目指された。各キャンパスの BBP には国際教育担当嘱託講師が 1 名ずつ配置され、学生とともに BBP を運営し、必要に応じて指導にあたっている。運営の主体となるのは、BBP の学生スタッフ「マネジメントスタッフ」と「プロジェクトチーム」である。彼らは BBP の運営と企画充実のために活動する学生スタッフで、学内の学生たちが足を運びやすい BBP を作るための企画の構想と実施に従事している。

こうした枠組みで始まった BBP の取り組みが全学に広がった 2018 年度は、学内での認知度をあげることを最優先課題とした。結果として 3 キャンパス合計で延べ 5 万人の利用を達成し、さらに利用を拡大することが次の課題となっている。また 1 年目の取り組みを経て、キャンパスごとに異なる利用状況や特性が異なることも判明した。

以下では、まず大学生の正課外活動とその支援に関して述べ、次に BBP を軸に全学的展開した 1 年目の取り組みをキャンパスごとに考察する。

2. 大学生の正課外活動と支援

大学の学びは大きく二つに分けることができる。それは、正課の学びと正課外での学びである。正課の授業やセミナー、研究活動では、様々な知識を理論的な枠組みに沿って学ぶことができる。一方、正課外の活動では、様々な活動に参加することで正課授業ではできない経験をし、新たな力を獲得することができる。授業で知った理論的な枠組みから得た知識を実際に応用するには正課内だけでは限りがある。その不足を補うのが正課外活動である。従って、正課外活動は、単に

無数の活動の場を提供するのではなく、正課内の学びを活用できる機会を与える場として大きな役割を果たす（佐藤、2010）。大学生の正課外活動には、サークル、クラブ、ボランティア等、多くの種類が存在する。これらは基本的に学生主体で、個々の活動や役割分担などを通じてたくさんの力（例えば、企画力、行動力、応用力、積極性、組織性、精神面での成長等）が培われる（河井、2015; 向居、2013; 原田 他、2016; Buckley & Lee, 2018）。

先行研究では、大学生の正課外活動は、正課内の学びを深める手助けをしつつ、将来のキャリア形成に必要な社会人の模擬体験をさせる重要な役を担っていることが報告されている。例えば、Tanner（2017）は、正課外活動と身体運動は正課内の学びを促進させると報告している。Tannerは、学業面での成功（academic success）と課外活動の相関関係について調査し、課外活動の利点と欠点を示した。課外活動には、生活のバランスを保つ（balanced life）、自信を持たせる（self-confidence）、自らの役割について認識させ学校へ恩返しさせる（increased sense of personal duty and contribution to the school）、属性を感じさせる（feelings of belonging）などの効果がある。大学生が生活のバランスをとるために、正課外活動が果たす役割は大きい。特に、正課の勉強の合間に少しだけでも正課外活動に参加することによって、いつもの授業で得られない観点からの気づきがあったり、授業の内容についてより深く考えさせられる機会が多くあったりする。正課外活動の中には、イベントなどの企画を実施するものが多く存在する。ある提案を基に企画を計画、準備し、実施する活動を通して、学生は多くのことが獲得することができる。まず、提案から実施までの過程で体験する成功と失敗の連続により「忍耐力」が身につく。加えて、グループワークが多いことから「チームワーク力」や「リーダーシップスキル」等も身につく。そして、企画を実施したあとの「達成感」が最も重要である。一つの仕事をやり遂げた実感を得ることで学生に自信がつく。さらに、課外活動に参加することで学生は無意識的に自らの立場や役割をも認識させられる。例えば、日本国内の部活動では、誰もが一度は経験したことがある、先輩と後輩の立場を経験することで様々な身分にふさわしい振る舞いを学ばせられる。また、このような、立場ごと与えられた仕事を体験することで、様々な立場の人が背負う「役割と責任」を感じさせられる。しかし、課外活動においては、学生個人が想定しているものを上回る容量の仕事に課せられることで、学生本来の活動と社会的活動のアンバランスが生じ、それが大きな悪影響になることもある。課外活動はあくまでも学生の正課の学びの次にある補助的なものとして考える必要がある。

以上のことから、大学生は正課外活動に参加することによって大きく二つのことを獲得できることが分かる。まず、正課外で過ごす時間は、よりよい生活（グッドライフ）を構築するための手助けとなる。次に、正課内の学びで獲得する知識や能力をさらに発展させることでよりよい学び（グッドラーニング）に繋げることができる。立命館大学でも学生のグッドライフ・グッドラーニングを構築するための正課外の活動が数多く提供されている。これらは、様々な点において特徴的であり、中でも参加学生の多様性（多岐にわたる国籍・言語・専門の種類）や組織的な取り組み等において優れている（佐藤、2010）。

本稿で紹介するBBPもその一つである。BBPの特徴は、学生の自主性を最優先にしつつ、教職員によるサポート体制が充実している点である。BBPは基本的に、学生を主体とするマネジメントスタッフとプロジェクトチームで運営されている。マネジメントスタッフは、日頃の

BBP 施設の管理と運営に携わり、有償ベースの勤務を行う。プロジェクトチームは、言語と文化を越えた交流活動の提案・準備・実施を行うが、活動は無償のボランティアである。ほかのサークルやクラブ活動と比べ、BBP の特徴は、学生スタッフに有償と無償の区別がある点である。学生が主体的に活動しつつ、教職員も後援をしている。また、学生は常に、自らが管理側であったり、実施側、あるいは参加側であったりする。

マネジメントスタッフとプロジェクトチームの 2 種類のスタッフにはそれぞれ異なる学習効果が想定されている。まずマネジメントスタッフとしての仕事は、キャリア形成を見据えた学びの機会を与えるもので、獲得する能力は将来直接的に役立つことが期待される。学生は、有給の勤務であることから、様々な業務を行うことが想定されており、個々の役割の認識や業務の遂行を体験できる。また、社会人であれば誰もが通過しなければならない、業務上の報告・連絡・相談（いわゆる、ホウレンソウ）の実行方法を学ぶことができる。BBP の多岐にわたる業務を経験しながら、少しずつ業務の効率を上げるコツや業務の遂行能力を磨いていくことが望まれる。一方、プロジェクトチームにおいては、自発性や自律性を高め、言語や文化、専門を活用しながらリーダーシップスキルやチームワーク力を向上させることを狙いとしている。プロジェクトチームとして獲得する知識や能力のほとんどは間接的なものが多く、応用性が高いものであるといえる。学生の活動はボランティアベースであることから、活動は完全に任意で行っている。学生は、自らがやりたい企画や参加したいイベントなどの計画・準備・運営に関わることで、一つのタスクを最初から最後までやり遂げる「実体験と達成感」を得ることができる。

BBP のもう一つの特徴は、学生の活動を促進するための全学的なサポート体制である。BBP は基本的に、言語教育企画課と国際部が担当部局を担う。まず、チーフコーディネーター 2 人を議長とする BBP 運営委員会が、キャンパスを横断したサポート体制の維持と改善に取り組んでいる。加えて、それぞれの部局で BBP 担当者会議を開催し、ホウレンソウに基づきながら学生の課外活動を支援しており、役職者や担当の教職員も加わっている。国際部では、国際教育推進機構所属教員（国際教育担当）が BBP の全体における業務にかかわっている。担当教員間では、月に 1 回連絡協議する場を持ち、状況や課題を共有して進めている。教員は学生に課外活動の意義を見出してもらうため、教育的な立場からのサポートを行っている。加えて、担当の職員からも活動の充実のために事務を含めたサポートがある。

次節では、KIC・BKC・OIC それぞれのキャンパスでの BBP の取り組みを述べる。特に、個々のキャンパスの特徴を活かした学生活動の取り組みについて、成功例や課題点などをおさえながら紹介する。

3. 各キャンパスでの取り組みの紹介

3.1 KIC の取り組み

3.1.1 環境と運営体制の特徴

衣笠 BBP の環境と運営体制の特徴は二つある。一つは、BBP が独立した 2 階建ての建物という点にある。BBP に関わる教職員オフィスと BBP の建物が物理的に離れていることから、学生スタッフが自主的・主体的に施設を運営する必要性と責任が高まり、さまざまな問い合わせや

ニーズに応える機転や判断力、コミュニケーション力や行動力を育む機会となっている。ここで言う学生スタッフは、特にマネジメントスタッフを指す。マネジメントスタッフは有償のシフト制（通常週1-2コマ）で、1人ずつ勤務し、施設利用の予約対応や備品管理、BBPに関わる広報等の業務に加え、BBPに来る学生への声かけや施設紹介、BBP利用者同士の交流促進の中心的役割を担っている。1階は利用者のニーズに応じて自由に歓談・勉強・発表できる空間、2階は語学教材を備えた語学の学習空間として使い分けられており、マネジメントスタッフは特に1階の友好的な雰囲気作りに努めている。

BBPの二つ目の特徴は、BBP学生スタッフが二部構成で活動している点である。マネジメントスタッフと連携して活動するプロジェクトチームは、国際交流や外国語でのコミュニケーションの機会など、学生の出会いと学び合いにつながるイベントを企画・提供する。国籍や言語の違いだけでなく、キャンパス内で接点が少ない学部間の学生同士など、学内に潜在するさまざまな「ボーダー」を超える交流を促している。プロジェクトチームは空き時間を使って自由に活動する意欲を高め、学生スタッフの活動の幅を広げる狙いで、2018年秋 Semester から発足した。プロジェクトチームは Semester ごとに参加希望者が増えており、採用枠が限られている有償のマネジメントスタッフと異なり、意欲ある応募者を基本的に全員採用する方針にしている。学生スタッフの人数および内訳は付録2のとおりである。

3.1.2 学生スタッフの支援体制

BBPで展開される活動は、大学の教職員が常に支援・連携する形で進められている（活動の詳細は、付録1参照³⁾）。Semester開始直前に学生スタッフ向けの研修を実施し、Semester中は適宜、対面での指導・助言や振り返りミーティングを行なっている。さらに学生スタッフは、活動の進捗状況やイベントの振り返りを、全学授業支援システム（manaba+R）に開設したコースページに投稿する。このシステムは、学生スタッフの活動記録の蓄積と、衣笠BBP関係者（学生スタッフおよび衣笠BBP担当教職員）間の情報共有・連携に役立っている。

学生スタッフが「大学の指導の元でやっている」という認識を持つことは、彼らの主体的かつ独創的な活動を阻む。そのためBBP担当教職員は、学生スタッフの意思や考えを最大限に尊重しながら、配慮すべき点や明確にすべき点の指導のバランスを心がけている。基本的なことではあるが、学生自身がBBPという空間を自ら活用し、楽しむ気持ちを持つことが大事であることも強調している。また日頃から、BBP担当教職員はBBPを利用する学生にも積極的に声をかけ、より多くの学生団体がBBPの空間を活用したり、学生スタッフと連携したりできるよう、活動の幅を広げる支援を行っている。

3.1.3 学生スタッフの活動と学び

BBPは、ある学生が表現したとおり、国際交流だけでなく「学部間の交流や新入生と上回生、共通の趣味や学術的な考えを持つ人たちが集う」側面も持っている。この空間を最大限に活かすべく、学生スタッフはさまざまな工夫や改善を試みながら、BBPの活性化に励んでいる。学生スタッフが企画・提供するイベントテーマは大きく分けると、「語学（主に会話）」「海外留学相談と留学支援」「伝統行事と文化体験」「交流を目的としたスポーツやゲームなど」「そのほかの

学生団体との連携企画（例えば留学生の文化圏に合った学食メニューの調査や大学スポーツチームの試合観戦）」である。これらのテーマは、セメスターごとに行う研修で学生スタッフが提案し、テーマ別の小チームを編成した上で活動する。BBPは依然として、「留学生のための場所」「国際交流に興味のある人が行く場所」「特に英語ができる人、語学力を上達させたい人のためだけの場所」と見られる傾向にある。そのため、学生スタッフの大きな目標の一つは、BBPの認知度を高め、より広い学生層に足を運びやすくし、活用してもらうことである。この共通の目標を持ちながら、多様な背景を持つ学生スタッフが協働することで育まれる学びは多岐に渡る。BBPに関わる教職員がセメスターを通して感じ取る学生の変化に加え、学生スタッフや利用者自身の言葉から読み取れる学びと成長を以下に述べる。

まず、多様な背景を持つ仲間と協働する経験が、①役割分担や意思決定の仕方への配慮と工夫、および②使用主言語（日本語又は英語）と異なる言語を交えながら協力する姿勢とスキルを育む機会となっている。多様な背景とは、国籍や言語の違いに加え、上回生と低回生との違いや、継続学生スタッフと新規学生スタッフ間の経験値の違いなども含まれる。学生スタッフは、このような立場の違いから、お互いに遠慮したり依存したりする傾向もあることを踏まえ、対等な関係で一人ひとりの意見や個性が活かされるよう努めている。試行錯誤を重ね、新規や低回生という立場に捉われず、積極的に発言する意欲や、一人ひとりの得意な点を活かした役割分担、さらに自分の役割を理解し、主体的に取り組む姿勢の必要性和意義を学んでいる。またお互いの使用主言語を認め合い、受け入れ、支え合う姿勢も大事な学びとなっている。お互いに分かる言語を柔軟に使い分けたり取り入れたりしながら、アクセントの違いや語彙の不足などに捉われることなく相手の話を聴き、理解しようとする経験が、学生の信頼関係構築やモチベーション向上にもつながっている。多様な仲間と協働しながら一つの企画を作り上げる楽しさや、協力して物事を達成する意義を実感したことで、「これまで個人で作業する方が好きだったが、グループワークの良さを知る経験になった」ことも報告されている。

次に、イベントを立案・企画・実施する経験は、実践的なスキルを鍛える機会となっている。学生スタッフは、仲間同士のコミュニケーションはもちろん、大学の教職員とも必要事項を確認・相談しながらイベントを作り上げていく。その過程で、多くの学生スタッフが①挑戦意欲と行動力（失敗を恐れず、まずはやってみる姿勢）、②調整力（意見をすり合わせて決めていく力）、③タイムマネジメント（やるべきことを整理し、間に合うように作業を進めていく力）、④想像力（現場で起こりうることを想定し、先を見越して準備する力）、そして⑤問題解決力（予想外の事態に遭遇したときの機転と判断力）を試される。また、それまで初対面の人には声をかけづらかったタイプの学生は、自ら話しかける勇気や自信を得るだけでなく、人に楽しんでもらえることの喜びを感じ、より豊かな表情を見せるようになる。これらの経験を通して、多くの学生スタッフはさらに活動を改善し、より多くの学生のニーズに応じてキャンパスに貢献したい、という意欲を高めている。

3.1.4 課題と展望

2018年度春セメスターから始まった衣笠BBPの活動は、セメスターを重ねるごとに活性化し、学生スタッフの経験値が高まっている。そこで、今後は学生スタッフが自ら研修の一部を担当し、

BBP 担当教職員が担ってきた役割を徐々に学生スタッフに移行していくことが可能と考える。プロジェクトチームへの参加希望者もセメスターごとに増加傾向にある。メンバー構成の変化や増加を踏まえ、学生自身の主体性やチームビルディング力をさらに育み、継承できる支援体制を目指したい。

3.2 BKC の取り組み

3.2.1 支援体制

BKC は、他キャンパスと比較すると理系と文系の学部が並存していることが特徴である。また、キャンパスは面積が広く、緑豊かである。BBP も他キャンパスより広く、施設内の個々のスペースも広い。BKC-BBP の運営体制は、マネジメントスタッフとプロジェクトチームを担う BBP 学生スタッフと教職員から成る。今までスタッフを務めた学生の中には、日本、韓国、中国出身の学部生が多いが、大学院生もスタッフとして活動してくれた。団体設立当初から、国際教育センターと言語教育センターが管轄している団体：「留学サポーター」、「TISA (Tutors for International Students Assembly)」、「SUP! (Show your Potential)」のメンバーも加わっていたため、施設の管理運営や活動実施は順調に進んだ。2018 年春期に 15 名、秋期に 12 名の学生を採用した（詳細は、付録 2 参照）。

マネジメントスタッフとしての勤務を通じて、学生スタッフ間の運営体制の基盤を確立させるため、発足はじめとなる 2018 年春期は、組織性・リーダーシップスキル・積極性に焦点を置き指導を行った。とりわけ BBP のようにグローバルコモンズとして展開する施設においては、利用する学生の学部・回生・国籍などが多様であるため、施設運営側の学生が、その多様性に対して適切に対応できる力を身につける必要がある。また、多様性に対する捉え方や対応を見誤ると、多くのトラブルに直面することになる⁴⁾。したがって、マネジメントスタッフに対しては活動前に研修を実施し、大学側が学生に期待している活動や役割に関して詳しく説明したうえで、施設の管理・運営に対して個人として、またグループとしてどのように取り組むかについて考える機会を設けた。さらに活動を通じて毎月「定例会」を実施し、情報共有できる場を設けさせた。定例会は、学生スタッフのみで行い、その後に教職員へ報告させている。定例会を通して、グループ内の組織性を構築してもらうことを狙いとした。また、個々の自律性を促すために独自（又はグループ）の企画・イベントの提案を促した。2018 年春セメスターの BBP 活動においては、一人ひとりの個性を活かしながら一定の実績を残すことができた。2018 年度秋セメスターにおいては、前セメスターの活動の反省をもとに、運営と管理に携わるマネジメントスタッフと、企画・イベントを実施するプロジェクトチームの二つの異なる学生団体を設け、組織化を試みた。さらに、学生スタッフ以外の学生団体や教職員に対しても、企画やイベントの実施を広く呼びかけた。その結果、学生スタッフの企画やイベントに加えて、学生団体の参加も多くなった。

3.2.2 活動の実態

BKC の BBP で実施した活動は付録 1.2 および 1.3 に記載した。2018 年度の春は、BBP が発足した最初のセメスターでもある。そのため、運営と企画・イベントの実施は、すべて初めての試みである。春セメスターは、特にプロジェクトチームを構成していなかったこともある。しかし、

先に (3.2.1 で) 述べたようにマネジメントスタッフに参加した学生の中には、ほかの学生団体ですでに活動しているメンバーも加わっていたため、一定の活動を蓄積することができた。春セメスターの企画・イベントの中では、食を介した交流活動、留学に特化した活動、ゲーム大会等の国際交流のイベントも実施できた。また、秋セメスターでは、プロジェクトチームを構成したことで、学生スタッフが実施する企画・イベントが一気に増加した。特に、異文化交流やコミュニケーション型の企画が充実し、中でも国内学生と留学生の交流を促すイベントが増加した。その一つの原因は、秋セメスターでは、学生スタッフに個人企画とグループ企画を行うための情報共有とサポートを行ったことが挙げられる。学生スタッフ間の定例会では意見交換の場を設け、学生同士の協力を促した。さらに、教職員が必要に応じて面談を行い、企画・イベントの提案・内容調整・広報・及び実施まで、細部にわたってサポートした。結果的に、学生スタッフの多くは、独自の企画を実施し、BBP 全体の活性化に繋がった。

3.2.3 活動から得た学びと課題

これまでの学生スタッフへのサポートを通じて得た学びを以下に 3 点挙げる。第一に、BBP のようなキャンパス全体にまたがる学生の正課外活動においては教育的な側面からのサポートが必要である。まず、管理と運営を担う学生スタッフにおいて、マネジメントスタッフとプロジェクトチームメンバーとして期待されているものや、勤務と活動を通して獲得してほしいスキル・能力などを丁寧に説明し理解を求める必要がある。また、BBP を盛り上げて活動を実施してくれるほかの学生個人又は団体に対しても、学生スタッフ同様に説明を行い、理解を求める必要がある。なぜなら、BBP は一部の学部又は学科の学生に限定されるものではないからである。特に、学生スタッフには、自らの活動において提供するサービスや企画には責任をもって取り組んでもらいたい。担当教員として今までの活動を経て課題として感じたのは、提供するサービスの内容と活動の意義を理解しないまま実行してしまうことで生じる参加者と実施担当側のトラブルである。また、SNS (Social Network Service) ツールを活用しているものの、ミスコミュニケーションが多く発生していることも事実である。今後はこれらの課題を解決するための対策を検討していきたい。

第二に、BBP としても組織的な目標と学生が担当可能な仕事量の調整が必要である。BKC の特徴の一つは文理系が混在しているところにある。そのため、正課外活動に費やす時間が学生によって大きく異なる。例えば、学生が所属する専攻の特徴によって、授業の前後の学習が多くあるとの意見もあった。そのため、学生が企画やイベントを行う際に事前と事後の取り組みにおいて必要十分に参加できなくなることがあったのは大きな課題であった。特にチームワークが求められる活動に対して参画が難しい場合は、学生個人の事情に合わせ、学生にふさわしい仕事の容量を越えないようサポートする必要がある。先行研究でも指摘されているように、学生身分と社会人としての役割の間にアンバランスが生じてしまうと、正課外活動だけでなく正課活動にも悪影響を及ぼしかねないからである。

第三に、管理・運営のサポートにかかわる教員には、多岐にわたるスキルと能力が求められる。担当教員は、前述のサポートを行う際に、学生同士のチームワーク力を育てるための手助けをし、コミュニケーション不足によるトラブルの解消に尽力することが重要である。今までの取り組み

の中で最も課題であったのは、上記のサポートに多くの時間が費やされてしまうことであった。今後は、時間に配慮したサポート体制を築くための対策を検討したい。

3.3 OICの取り組み

OIC-BBPは、KICとBKC同様、BBP開設コンセプトである三つの柱「国際交流・国際理解」「言語学習支援」「海外留学支援」を活動内容の基礎とし、留学生と国内学生の学内での交流を主な目的とするラーニングコモンズの機能と、言語学習を中心とする自律学習支援の機能を兼ね備えたグローバルコモンズとして存在する。施設運営は、留学生と国内学生で構成されるOIC-BBPマネジメントスタッフ、言語教育センターと国際教育センターに所属するOIC-BBP関連学生団体（留学生サポーター、言語学習支援や海外留学支援のための学生団体）と同センター所属教職員で構成されている。マネジメントスタッフは、平日のシフト業務を行い、BBP利用に関する窓口対応と利用状況調査、利用促進のための各種企画を実施運営するのに対し、BBP関連学生団体は、各団体の活動理念に沿った企画を実施運営している。マネジメントスタッフ、BBP関連学生団体共に、正課外活動における学生へのピアサポーターであり、互いの役割を意識しながら、OIC-BBPとしての企画運営実施が進んだ。従って、マネジメントスタッフと担当教職員との話し合いにより、他キャンパスで設けられたBBPプロジェクトメンバーの配置はOICでは不要となった。OIC所属学生による活動に加え、言語教育センター所属教職員による言語学習支援（外国語コミュニケーションルーム、自律学習サポートデスク）と、国際教育センター所属教職員による国際理解や海外留学支援（インターカルチュラルアドバイジングデスク）を実施している。一ヶ月に一度を目安に、マネジメントスタッフ、関連学生団体と担当教職員でミーティングを行い、各種活動内容の共有や、進捗状況の確認を行い、学生、教員、職員の三者の役割が均衡を保てるような関係構築を続けている。

OICの特筆すべき特徴の一つは、BBPとしての物理的な場所を一ヶ所に特定せず、キャンパス全体で行う取り組みにしている点である。これは、2015年度のOIC開学時、OICを「キャンパス全体をラーニング・プレイスに」として設計された⁵⁾ため、ほかのキャンパスと違い、OIC-BBPとしての単独の建物やフロアは存在しない。そのため、BBPの情報発信の中心地として、A棟1階AN事務室内の学修支援コモンズにマネジメントスタッフを配置し、A棟1階iCommonsと、A棟4階SALL（Self-Access Learning Lounge）もBBPの活動拠点としつつ、キャンパス内の各施設も活用しながら、OIC全体が緩やかにBBPとなるよう各種企画を実施している。2018年度は、合計で84企画を行った（詳細は、付録1.4参照）。学生主催イベントを中心に、教職員主催イベントも行い、学生独自で企画できるものと、教職員が提供できる取り組みとの棲み分けを意識するようにしている。また、学内のほかの学生団体や、キャンパス内の各部署とも連携し、先述のBBP開設コンセプトである3つの柱がキャンパス全体で展開していけるような企画を実施運営している。

BBPを展開するにあたり、開設準備段階から、担当教職員間で何度も話し合いを重ね、各担当者が思い描くBBPのイメージを擦り合わせていった。それと併行して、関連学生団体へのヒアリングを実施した。2017年12月にはBBP開設プレ企画として、本学外からの招聘講師による基調講演とBBP関連学生団体メンバーとのパネルディスカッションを開催し⁶⁾、BBPが目指

すべき方向や今後の役割を学生と教職員間で共に考え、認識を整理した。これらのことから明らかになったのは、OIC に在籍する留学生の実態把握は行いながらも、所属学生全体の約 9 割を占める国内学生の意識を、本取り組みを通してどのようにしていくか、その視点を持つ必要性が非常に大きくなった。OIC は、開学してまだ日が浅いキャンパスであり、多くの正課外活動をする学生団体が、KIC と BKC をメインキャンパスとして活動しており、OIC をメインキャンパスとする学生団体の数が限られてしまい、活動規模も小さくなってしまふことが多い。そのため、正課外活動の意義が学生達にとって見えづらく、正課外活動の素地が育まれ難いことがわかった。BBP は、大学側も運営に関わるものの、学生のための取り組みであるため、学生達の主体性を育む土壌・空間とする必要があり、そのために、どのように教職員が学生達に寄り添っていかを運営しながら見出すこととなった。

現時点での OIC で展開する BBP の強みは、運営する学生（マネジメントスタッフ、BBP 関連学生団体）と、教員、職員の三者が、互いに調和を保って関係性を構築しているところにある。それぞれの特性を活かしながら、互いの間合いを見極めて運営できるように、自然とそのようになった。例えば、マネジメントスタッフがシフト業務の際に提出する日報には、シフト中の出来事や気づきを記入するようになっており、教職員がほぼ全てに目を通して、適宜コメントを付けている。そうすることで、業務中の一見した様子だけでは見えてこない学生達の気持ちや視点を備に把握でき、意思疎通が深まる。さらに、学生か教職員のどちらか一方だけが注力をするのではなく、日報を活用しながら、互いの考えや気づきを知ることで、自分自身の役割を反芻し、次の行動へ移すことができた。学生間、学生と教職員間、教職員間のそれぞれのレベルで、互いを知る努力が続き、その結果として、互いの役割の均衡が取れるようになったと言える。

そのほか、OIC 全体の実践の中で常に突きつけられたことは、BBP は学生達の活動により成り立っており、その実際の活動状況から、BBP を担当する教職員が BBP での学生達の学びをいかに各教職員自身が学び取って、その後の BBP の活動に還元できるかということ日々意識し、目を配らなければならない。BBP は、学生と教職員が共に関わり合い、各企画を行うことで日頃から意思疎通が図れ、互いに何を考え、どのようにしたいのか、意見を密に擦り合わせる事ができる。その積み重ねが各企画などを通じ、運営に関わる学生と教職員はほかの学生や教職員への mediator（仲介者）であり、interlocutor（対話者）としてピアサポーターの役割を果たせることがわかった。日本の大学キャンパスの国際化は、大西（2016, 223 頁）が指摘するように、「教育・研究、支援に携わる教職員、留学生を含む全学生に求められるもの」と理解でき、「構成員全体の多文化対応力の底上げや既存の体制・制度の変化を含む、計画的、継続的かつ組織的な取り組みが必要」だと言える。BBP が学生達の学びのコミュニティ構築としてだけでなく、教職員も含めた本学内の国際化の具現化の一つとして、BBP の存在意義を学生、教職員共に言語教育や国際教育の枠組みを越えて、今一度認識する必要に迫られている。

今後も引き続き、OIC-BBP はキャンパス内の国際教育交流のプラットフォームとなるが、それに加えて、2018 年 3 月には OIC から徒歩約 15 分の場所に国際寮（立命館大学 OIC インターナショナルハウス）が開設され、寮生に限定されてはいるもののキャンパス内の延長線上のグローバルコモンズの役割を果たしている。2019 年 9 月には、国際寮（立命館大学 OIC グローバルハウス）が併設された G 棟 分林記念館がキャンパス内に完成するため、全体の国際化が速度

を増して進化している。従って、OIC-BBP の実践とその知見は今後に向けてますます重要であり、山井（2018、1 頁）が強調する「人と人、人と自然が調和的につながる未来」をさらに実現できる環境が目の前に広がっている。学生と教職員が共に作り上げる学びの場とその広がりを大切に、学生と教職員の互いの成長を促し、大学全体のさらなる躍進へとつなげたい。

4. 最後に

日本の高等教育機関において、国際教育交流の促進が大学改革政策の重要な一つの軸となっており、1980 年代に始まった「留学生 10 万人計画」が 2003 年度にその目標を達成し、その間、外国人留学生受け入れの量的拡大と同時に教育支援制度の質的拡充が進んだ。その後継政策として 30 万人を数値目標とした外国人留学生受け入れが促進されると同時に、派遣留学の促進や地域を特化した相互交流政策などにも重点が置かれるようになった。2014 年度に始まったスーパーグローバル大学創生事業（SGU）は、その象徴的な取り組みであり、大学生の国際移動が今後さらに加速することは明らかである。

本稿で検討した立命館大学における BBP は、大学生の国際移動を促すための最初の一步を後押しする施策である。その成果の一つとして、いわゆる国際交流に関心の高い学生を BBP のスタッフとしてリクルートすることができ、彼らの主体性やチームビルディング力を育てることに成功した点を強調したい。2018 年度春 semester の BBP 発足以来、BBP の認知度が上がり、利用者が多様化してきているほか、企画やイベントも充実している（詳細は、付録 1 参照）。2018 年度に引き続き、2019 年度も学生スタッフとしての活動に関心が高まっている（詳細は、付録 2 参照）。3 キャンパスがそれぞれの企画を進めることでお互いに刺激となり、相互に研鑽し合うポジティブな関係も生み出されている。学生が多様な文化と接し、成長する姿は教職員にとってこの上ない喜びである。しかし、実際はそのような挑戦に不安を感じる学生も少なくない。自身の快適な空間（コンフォートゾーン）を脱して、さらにその先にあるグローバルなコンテキストにおいて自らの力を発揮するには、制度的な応援や教育的な仕掛け作りが必要である。BBP はそのような視点に立ち、国際交流活動に関心がある意識の高い学生のみならず、国際的な活動に関心が低い学生をも巻き込むような空間・活動作りを目指すべきである。

初年度の BBP は、一定の成果を取めたと同時にいくつかの課題も浮かび上がらせた。BBP は通常の授業とは異なり、正課外活動という位置づけから、BBP での活動の方向性が学生自らの問題関心、意志、スキルによるところが少なくない。企画の運営力や質は継続的に取り組む課題であると言えよう。本稿の中盤における各キャンパス報告に記したように、BBP 担当教員はマネジメントスタッフを育てる指導、プロジェクトチームを育成するための指導に多くの時間を費やした。マネジメントスタッフやプロジェクトチームが独り立ちし、BBP を切り盛りできるようになるまでには担当教員の現場での指導・相談・コミュニケーションが欠かせないことも改めて分かった。学生の声に耳を傾けるといふペダゴジー、学生とともに一緒に作り上げるという協働的な姿勢も非常に重要であることが分かった。

また、BBP は特定の学部や専門領域を超えた全学的な取り組みであるとしつつも、多様な学生層、多様なニーズを汲み取った多層構造には至っていない点が指摘できる。上述したように、

いわゆる国際交流にあまり関心がなく、かつ自信がない学生の潜在的な関心を掘り起こすための効果的なアプローチは模索中であり、BBP がより多くの学生に響き、学内に浸透するには時間を要するであろう。大規模私立大学という特徴を持つ立命館大学は、ダイバーシティ促進の取り組みを進めている。中でも、留学生が国内学生と混ざり合い、言語の違いや文化的差異を乗り越えて互いに学び合いを深める活動を充実させることは喫緊の課題である。この意味において、BBP は多文化共修を促す好機と言えるが、留学生を主軸としたイベントは限定的に実施されるに留まっており、この点は重要な課題と指摘できる。ただし、留学生の中には、マネジメントスタッフやプロジェクトチームとして BBP を牽引する側に身を置く者もあり、彼らが日本滞在中に獲得した異文化体験が BBP 運営のリソースとして活用されていることは注目に値する。国境を越え、異文化の中で生活することは楽しいことばかりではない。学生が得た自らの体験を BBP のイベントを通してほかの学生と共有することは、他者へ裨益があるだけでなく、自らの経験を省察する教育的な意義も持つと考えられる。

本稿では、各キャンパスの BBP 運営と指導の実践例を省察・報告したが、今後の施策と成果を議論していくために、より具体的に検証すべきことがたくさんある。まず、利用者の観点から BBP を利用したことで育んだスキルや能力に関して把握していくことが必要である。現在は企画参加者の満足度や感想を集める程度に留まっている。また、企画運営・実施に携わった学生スタッフが得る学びや気づきについても、これまでの質的な意見集約に加え、量的研究手法も用いた継続的・重層的な調査を実施することも重要である。利用者と学生スタッフの両者における成果や課題をより明確にすることで、教育的実践と効果についてさらに議論していきたい。また、BBP 参加学生がキャンパス内外の交流と体験を活かし、学びを深めていく場をより多く提供できるよう目指したい。日本の高等教育の未来において、言語や文化の差を乗り越えて互いに学び合う学生の姿を見ることを願ってやまない。

謝辞

本実践レポートの作成に当たって、BBP 担当部局の一つである国際部の各センターの事務局からサポートをいただきました。さらに、執筆において河井亨先生（教育開発推進機構）にもたくさんのアドバイスをいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。

注

- 1) 「各キャンパスの Beyond Borders Plaza (BBP) の具体的提案について」2017年02月24日 京都キャンパス将来構想検討委員会 (BBP/SALSA 横断管理チーム)。
- 2) 本稿では、海外より日本へ受け入れている国際学生 (international students) の意味で「留学生」を用いる。また、日本人学生とすると、日本国籍を保持しない学生が含まれないため、先述の「留学生」でない学生を「国内学生」として用いる。
- 3) 付録1で記載している各キャンパスの BBP 実施企画一覧は、学生主体の活動のみを選出している。各キャンパスの実施企画の全体 (学生、教職員のすべてを含むもの) は、衣笠キャンパス (2018年度144件と2019年春期122件)、びわこ・くさつキャンパス (2018年度106件と2019年春期93件)、大阪いばらきキャンパス (2018年度84件と2019年春期48件) であった。詳しくは、<https://www.bbp>。

大学内における学生の正課外活動への支援体制と課題

ritsumeai.ac.jp/events-calendar-2/ を参照（最終アクセス日は、2019年8月18日）。

- 4) 無論、トラブルに直面すること自体が多く、学びに繋がるが、最初からトラブルが多いと活動の継続に支障がでる可能性もある。
- 5) 『立命館大学 大阪いばらきキャンパス マスタープラン 2018 Ver.1』49頁、2018年4月、学校法人立命館。
- 6) 詳細は、<http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=969> を参照（最終アクセス日は、2019年8月20日）。

参考文献

- 大西晶子『キャンパスの国際化と留学生相談—多様性に対応した学生支援サービスの構築』東京大学出版会、2016年。
- 河井 亨一「特徴ある正課外教育で学生を教育する—正課外教育における学生の学びと成長」大学時報、2015年、32-71頁。
- 佐藤 敬二「正課外活動を通じた学生の成長」2010年、28-29頁。<http://www.ritsumeai.ac.jp/~satokei/Research/2010/seikagaikatsudou.pdf>（最終アクセス日は、2019年6月27日）。
- 原田 新、王 松、日潟淳子、石本雄真、山根隆宏、田仲由佳「大学生の正課外活動と成長（1）—自我同一性、汎用的技能との関連から—」教心第58回総会、2016年、480-567頁。
- 向居 暁「大学生の正課外活動と社会人基礎カー幼児・児童教育関連学部卒業生において—」学校心理学、教心第55回総会、2013年、246頁。
- 山井敏章「“Beyond Borders”と大学における教育の国際化—立命館大学の取り組み—」『立命館高等教育研究』第18号、2018年、1-16頁。
- Buckley, P. and Lee, P. “The impact of extra-curricular activity on the student experience.” *Active Learning in Higher Education*, 1–12, 2018, pp.1-12.
- Tanner, B. “Effects of Extracurricular Activities and Physical Activity on Academic Success” *Intuition: The BYU Undergraduate Journal in Psychology*: Vol.12:2, Article 14.2017, pp.159-168.

付録 1. 2018 年度 衣笠 BBP 実施企画一覧

通し番号	開催日時	企画名	実施主体
1	4月11日(水) 昼休み	TISA募集説明会①	TISA
2	4月12日(木) 昼休み	SKP募集説明会①	SKP/バディ
3	4月13日(金) 昼休み	まいる募集説明会	まいる
4	4月16日(月) 昼休み	TISA募集説明会②	TISA
5	4月17日(火) 昼休み	SKP募集説明会②	SKP/バディ
6	5月18日(金) 昼休み	Lunch Game Hour	BBPマネジメントスタッフ
7	5月24日(木) 昼休み	Lunch Game Hour	BBPマネジメントスタッフ
8	5月28日(月) 昼休み	すきやねん日本語企画	すきやねん、BBPマネジメントスタッフ
9	5月29日(火) 5限	クッキング講座“Hello! Muslim Friendly”	生協学生委員会
10	5月30日(水) 昼休み	“Hawaiian Wind”ハワイの風を吹かせます	まいる
11	5月30日(水) 昼休み	Event for Japanese Learners 日本語学習者向けイベント	TISA×SUP!
12	5月30日(水) 4限	Round-table discussion on Italy イタリア座談会	Italian Studies
13	5月30日(水) 5限	Presentation: Indonesian Culture インドネシア文化紹介	I-Start
14	5月30日(水) 5限	Cooking Workshop:Chinese Fried Rice チャーハンを作ろう!	Student from China
15	5月31日(木) 昼休み	Study Abroad Consultation 留学相談会	まいる
16	5月31日(木) 4限	Japanese Games at Gym 日本のレクリエーションで遊ぼう!	KISS
17	5月31日(木) 5限	Cooking Workshop:Coconut Noodles ココナツズードルを作ろう!	Student from Myanmar
18	5月31日(木) 5限	人生ゲーム大会 (Film Night企画の差し替え)	BBPマネジメントスタッフ
19	6月1日(金) 5限	East European Food & Okonomiyaki 東欧料理&お好み焼き	GSIR Students
20	6月1日(金) 6限	Open Mic Event オープンマイク	KISS、BBPマネジメントスタッフ
21	6月15日(金) 昼休み	Lunch Game Hour	BBPマネジメントスタッフ
22	6月20日(水) 昼休み	SUP!Talkfest	SUP! 学生運営スタッフ
23	6月27日(水) 昼休み	Lunch Game Hour	BBPマネジメントスタッフ
24	6月29日(金) 昼休み	TISA×SUP! 企画	TISA、SUP
25	7月3日(火) 昼-3限	フィリピンの漁村での国際交流活動紹介・試食会	BEPFINE
26	8月1日(水) 1泊2日	国際交流合宿 ～Feel Summer～	BBPマネジメントスタッフ
27	10月12日(金) 昼休み	SKPバディランチ会	SKP/バディ
28	10月17日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
29	10月22日(月) 6限	ハットグ作り	BBPプロジェクトチーム
30	10月24日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
31	10月25日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
32	10月26日(金) 昼休み	SKPバディランチ会	SKP/バディ
33	10月26日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
34	10月30日(火) 昼休み	ハロウィンパーティー	BBPプロジェクトチーム
35	10月31日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
36	10月31日(水) 昼休み	先輩留学生による日本就職相談会・ワークショップ	キャリアオフィス
37	11月1日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
38	11月2日(金) 昼休み	ビニヤータ祭り	BBPプロジェクトチーム
39	11月2日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
40	11月7日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
41	11月7日(水) 昼休み	先輩留学生による日本就職相談会・ワークショップ	キャリアオフィス
42	11月8日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
43	11月9日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
44	11月14日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
45	11月15日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
46	11月16日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
47	11月21日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
48	11月21日(水) 昼休み	先輩留学生による日本就職相談会・ワークショップ	キャリアオフィス
49	11月22日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
50	11月28日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
51	11月28日(水) 昼休み	先輩留学生による日本就職相談会・ワークショップ	キャリアオフィス
52	11月29日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
53	11月30日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
54	12月5日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
55	12月6日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
56	12月7日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
57	12月11日(火) 昼休み	ネパールイベント	BBPプロジェクトチーム
58	12月11日(火) 3限	ネパールイベント	BBPプロジェクトチーム
59	12月12日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
60	12月13日(木) 昼休み	留学体験発表会	BBPプロジェクトチーム
61	12月13日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
62	12月14日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
63	12月17日(月) 昼休み	留学体験発表会	BBPプロジェクトチーム
64	12月19日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
65	12月20日(木) 昼休み	留学体験発表会	BBPプロジェクトチーム
66	12月20日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
67	12月21日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
68	12月21日(金) 6限	餃子パーティー	BBPプロジェクトチーム
69	1月9日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
70	1月9日(水) 5限	KAKIZOME Lot's make your original calligraphy works	まいる
71	1月11日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
72	1月11日(金) 5限	Open Mic × チーズフォンデュ	BBPプロジェクトチーム
73	1月16日(水) 昼休み	Enjoy Talking!	BBPプロジェクトチーム
74	1月17日(木) 昼休み	お菓子パーティー	BBPプロジェクトチーム
75	1月17日(木) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム
76	1月18日(金) 5限	韓国語を学ぼう	BBPプロジェクトチーム

大学内における学生の正課外活動への支援体制と課題

付録 1.1 2019 年春期 KIC-BBP 実施企画一覧

通し番号	開催日時	企画名	実施主体	
1	4月10日 水	昼休み	新歓期サークル紹介 RBC	学友会
2	4月11日 木	昼休み	新歓期サークル紹介 英語研究会	学友会
3	4月17日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
4	4月18日 木	昼休み	SKPパティ募集説明会	SKPパティ
5	4月19日 金	昼休み	SKPパティ募集説明会	SKPパティ
6	4月22日 月	昼休み	昭和ポストプログラム説明会	留学サポートデスク
7	4月22日 月	3限	昭和ポストプログラム説明会	留学サポートデスク
8	4月22日 月	昼休み	SKPパティ募集説明会	SKPパティ
9	4月23日 火	昼休み	SKPパティ募集説明会	SKPパティ
10	4月24日 水	昼休み	SKPパティ募集説明会	SKPパティ
11	4月24日 火	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
12	5月8日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
13	5月10日 金	昼休み	BBPプロジェクトチーム企画 令和初イベント 書道	BBPプロジェクトチーム
14	5月10日 金	昼休み	まいる募集説明会	まいる
15	5月13日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
16	5月15日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
17	5月16日 木	昼休み	留学フェア	BBPプロジェクトチーム
18	5月17日 金	5限	English Café (ゲストスピーカーを招き交流をする)	English Café & BBP
19	5月20日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
20	5月20日 月	5限	ESS英語研究会	英語研究会
21	5月22日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
22	5月26日 日	10:00	立同戦競戦企画	BBPプロジェクトチーム+AVA
23	5月27日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
24	5月29日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
25	6月3日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
26	6月3日 月	5限	ESS英語研究会	英語研究会
27	6月5日 水	昼休み	留学相談フェアwith外国人留学生	BBPプロジェクトチーム
28	6月6日 木	5限	好きやねん日本語	日本語教育学科
29	6月7日 金	昼休み	フラダンスwithバンケーキ	BBPプロジェクトチーム
30	6月5日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
31	6月10日 月	5限	Talking ESS	英語研究科
32	6月12日 水	昼休み	浴衣と着物を着て日本の文化を気軽に触れよう	BBPプロジェクトチーム
33	6月12日 水	3限	浴衣と着物を着て日本の文化を気軽に触れよう	BBPプロジェクトチーム
34	6月12日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
35	6月13日 木	5限	好きやねん日本語	日本語教育学科
36	6月13日 木	昼休み	留学相談フェア	BBPプロジェクトチーム
37	6月10日 月	5限	好きやねん日本語	日本語教育学科
38	6月10日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
39	6月13日 木	3限	留学相談フェア	BBPプロジェクトチーム
40	6月17日 月	5限	好きやねん日本語	日本語教育学科
41	6月17日 月	5限	ESS英語研究会	英語研究会
42	6月19日 水	昼休み	中国語でお茶会	BBPプロジェクトチーム
43	6月17日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
44	6月19日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
45	6月21日 金	5限	English Café	English Café & BBP
46	6月24日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
47	6月24日 月	5限	ESS英語研究会	英語研究会
48	6月24日 月	5限	好きやねん日本語	日本語教育学科
49	6月25日 火	昼休み	BBP説明会	国際教育センター
50	6月26日 水	昼休み	まいる募集説明会	まいる
51	6月26日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
52	6月27日 木	昼休み	留学相談フェア	BBPプロジェクトチーム
53	6月27日 木	3限	留学相談フェア	BBPプロジェクトチーム
54	6月28日 金	昼休み	English Café (ゲストスピーカーを招き交流をする)	English Café & BBP
55	7月1日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
56	7月2日 火	4限	メニュー試食会 生協学生委員会	生協学生委員会
57	7月3日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
58	7月4日 木	5限	世界難民の日イベント	難民支援団体バステル
59	7月8日 月	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
60	7月10日 水	5限	BBPプロジェクトチーム企画 韓国語プロジェクト	BBPプロジェクトチーム
61	7月17日 水	昼休み	クイズ大会	BBPプロジェクトチーム
62	7月17日 水	5限	韓国語交流会 ビザパーティー	BBPプロジェクトチーム
63	7月18日 木	4限	好きやねん日本語	日本語教育学科

付録 1.2 2018 年度 BKC-BBP 実施企画一覧

通し番号	開催日時		企画名	実施主体
1	6月5日	(火) 昼休み	韓国料理イベント	BBPMS・学生
2	6月7日	(木) 5限	SOIL&SOULボードゲ交流会@BBP～ボードゲームで遊びながら国際交流をしよう～	SOIL&SOUL・学生
3	6月12日	(火) 3限	韓国料理イベント	BBPMS・学生
4	6月19日	(火) 昼休み	SAPP アブストラクトセミナー	生命・院生
5	6月21日	(木) 昼休み	SAPP アブストラクトセミナー	生命・院生
6	7月2日	(月) 3限	How to stay motivated when learning a new language	BBPMS・学生
7	7月3日	(火) 3限	韓国料理イベント	学生
8	7月3日	(火) 昼休み	韓国料理イベント	学生
9	7月4日	(水) 3限	SUP!Summer Event	SUP!学生
10	7月10日	(火) 3限	韓国料理イベント	学生
11	8月1日	(水) 4限	SUP! Talkfest	SUP!学生
12	9月28日	(金) 終日	新入生歓迎パーティー	TISAと留学生
13	10月6日	(土) 終日	Sustainable Week 食企画プレイベント	学生
14	10月14日	(日) 13-18:00	Sustainable Week2018	学生
15	10月15日	(月) 13-19:00	Sustainable Week2018	学生
16	10月16日	(火) 13-19:00	Sustainable Week2018	学生
17	10月16日	(火) 昼休み	SUP! 学生ボランティアスタッフ募集説明会	SUP! 学生
18	10月18日	(木) 昼休み	SUP! 学生ボランティアスタッフ募集説明会	SUP! 学生
19	10月31日	(水) 10:40-14:30	SUP! ハロウィンパーティー	SUP! 学生
20	11月2日	(金) 12:10-14:30	SUP! ハロウィンパーティー	SUP! 学生ボランティア
21	12月11日	(火) 12:20~14:30	181211 韓国料理をつうじた食・文化の交流	PAK(学生)
22	12月14日	(金) 16-19:30	SUP!滋賀の特産品を味わおう!	SUP! 学生ボランティア
23	12月18日	(火) 16:20-21:00	Express yourself～学生の主張～	BKCinternational house
24	12月21日	(金) 18-20:00	WINTER EVENT	BBPスタッフ
25	1月10日	(木) 16:00-20:00	Prom Night	留学生
26	1月11日	(金) 12:20-13:00	SUP! Talkfest	SUP!学生ボランティア

大学内における学生の正課外活動への支援体制と課題

付録 1.3 2019 年春期 BKC-BBP 実施企画一覧

通し番号	開催日時	企画名	実施主体
1	4月3日 水 昼-6限	新入生履修登録相談会	中国人留学生学生会
2	4月19日 金 5-6限	Friday Evening Café	学生個人
3	4月19日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
4	4月22日 月 2-4限	留学サポーターによる留学相談	留学サポーター
5	4月23日 火 2-4限	留学サポーターによる留学相談	留学サポーター
6	4月24日 水 昼休み-3限	外部講師講演企画「France, Fashion, Cosmetics and Me」	留学サポーター
7	4月24日 水 2-4限	留学サポーターによる留学相談	留学サポーター
8	4月25日 木 2-4限	留学サポーターによる留学相談	留学サポーター
9	4月26日 金 2-4限	留学サポーターによる留学相談	留学サポーター
10	4月26日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
11	5月9日 木 3-6限	2018年度GRGP 海外留学報告会	理工学研究科 GRGP
12	5月10日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
13	5月10日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
14	5月17日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
15	5月17日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
16	5月20日 月 昼休み	One Lunch, One Country	BBPMS
17	5月22日 水 昼休み	One Lunch, One Country	BBPMS
18	5月24日 金 昼休み	SUP! Talkfest	SUP!学生ボランティア
19	5月24日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
20	5月24日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
21	5月28日 火 昼休み	One Lunch, One Country	BBPMS
22	5月31日 金 3限	Group Presentations(※授業関連)	大学院留学生
23	5月31日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
24	5月31日 金 3,4限	(毎金) Group class Presentations(※カンダ先生の授業)	大学院留学生
25	5月31日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
26	6月3日 月 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
27	6月7日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
28	6月7日 金 3,4限	Group Presentations(※カンダ先生の授業)	大学院留学生
29	6月7日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
30	6月7日 金 3,4限	Group class Presentations(※授業関連)	大学院留学生
31	6月12日 水 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
32	6月14日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
33	6月14日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
34	6月14日 金 3,4限	(毎金) Group class Presentations(※カンダ先生の授業)	大学院留学生
35	6月17日 月 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
36	6月18日 火 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
37	6月20日 木 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
38	6月21日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
39	6月21日 金 3,4限	(毎金) Group class Presentations(※授業関連)	大学院留学生
40	6月21日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
41	6月27日 木 5-7限	クイズ大会	BBPMS
42	6月28日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
43	6月28日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
44	6月28日 金 3,4限	(毎金) Group class Presentations(授業関連)	大学院留学生
45	7月1日 月 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
46	7月2日 火 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
47	7月5日 金 昼と5限	Friday Café	BBPPS
48	7月5日 金 昼	One Lunch, One Country	BBPMS
49	7月5日 金 昼休み	SUP! Talkfest	SUP!学生ボランティア
50	7月12日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
51	7月12日 金 昼と5限	Friday Café	BBPスタッフ
52	7月14日 日 3限-7限	地球市民会議@Shiga	生命学生
53	7月19日 金 昼	日韓交流会	留学生と日本人学生
54	7月19日 金 昼-3限	SUP! セタイイベント	SUP!学生ボランティア

付録 1.4 2018年度 OIC-BBP 実施企画一覧

通し番号	開催日時	企画名	実施主体
1	4月9日 (月)	昼休み まいる説明会	OICまいる
2	4月10日 (火)	昼休み SUP説明会	SUP!
3	4月11日 (水)	昼休み SBJP説明会	SBJP/バディ
4	4月11日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
5	4月12日 (木)	昼休み TISA説明会	TISA
6	4月13日 (金)	昼休み サービスラーニングセンター学生コーディネーター説明会	サービスラーニングセンター学生コーディネーター
7	4月18日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
8	4月20日 (金)	昼休み RIS説明会	RIS
9	4月23日 (月)	昼休み まいる留学相談会(1セメスター・短期留学)	OICまいる
10	4月25日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
11	4月26日 (木)	昼休み TISA友達づくりゲームイベント	TISA
12	5月9日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
13	5月15日 (火)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「Discover OIC」	BBPマネジメントスタッフ
14	5月16日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
15	5月17日 (木)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「国際交流ゲームイベント第2弾」①	BBPマネジメントスタッフ
16	5月18日 (金)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「国際交流ゲームイベント第2弾」②	BBPマネジメントスタッフ
17	5月22日 (火)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「Discover OIC」	BBPマネジメントスタッフ
18	5月23日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
19	5月24日 (木)	14:40-17:00 BBPマネジメントスタッフ企画「アフタヌーンシネマ」(『ナイト・ミュージアム』)	BBPマネジメントスタッフ
20	5月30日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
21	5月28日 (月)	昼休み 国際ボランティアweek!	サービスラーニングセンター学生コーディネーター
22	5月29日 (火)	昼休み 国際ボランティアweek!	サービスラーニングセンター学生コーディネーター
23	5月30日 (水)	昼休み 国際ボランティアweek!	サービスラーニングセンター学生コーディネーター
24	5月31日 (木)	昼休み 国際ボランティアweek!	サービスラーニングセンター学生コーディネーター
25	6月1日 (金)	昼休み 国際ボランティアweek!	サービスラーニングセンター学生コーディネーター
26	6月6日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
27	6月15日 (金)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「中国茶と簡単な中国語会話」	BBPマネジメントスタッフ
28	6月27日 (水)	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
29	7月5日 (木)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「関西弁講座」	BBPマネジメントスタッフ
30	7月10日 (火)	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「おすすめ語学学習法講座」	BBPマネジメントスタッフ
31	9月26日 水	12:10-16:10 TISAによる留学生向け「学習・生活相談ブース」	TISA
32	9月27日 木	12:10-16:10 TISAによる留学生向け「学習・生活相談ブース」	TISA
33	10月4日 木	11:30-16:00 留学生Welcomeな学生団体紹介ブース	TISA、茶〜くる、SUP!
34	10月5日 金	昼休み 留学生支援団体OICまいるによる短期・1セメスター留学座談会	OICまいる
35	10月11日 木	昼休み SUP! Talk Fest	SUP!
36	10月16日 火	昼休み 留学生支援団体OICまいるによる長期留学相談会	OICまいる
37	10月17日 水	昼休み 留学生支援団体OICまいるによる長期留学相談会	OICまいる
38	10月18日 木	昼休み 留学生支援団体OICまいるによる長期留学相談会	OICまいる
39	10月23日 火	昼休み BBPマネジメントスタッフ企画「留学生から見た日本≠「異文化」どほ〜敌藤(内モンゴル)の文化紹介を通して〜」	BBPマネジメントスタッフ
40	10月25日 木	昼休み SUP! Talk Fest(Halloween Party)	SUP!
41	10月26日 金	12:20-12:50 茶〜くるBBPコラボイベント 茶道@BBP	茶〜くる&BBPマネジメントスタッフ
42	11月6日 火	16:30-17:30 BBPマネジメントスタッフ企画「ピラティス体験」	BBPマネジメントスタッフ
43	11月13日 火	12:15-12:50 BBPマネジメントスタッフ企画「大声大会」	BBPマネジメントスタッフ
44	11月22日 木	12:15-12:55 SUP! Talk Fest	SUP!
45	11月26日 月	12:15-14:30 BBPマネジメントスタッフ企画Lunch Time Movie『Shall We ダンス?』	BBPマネジメントスタッフ
46	11月28日 水	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「韓国語&K-POP」	BBPマネジメントスタッフ
47	11月28日 水	16:20-17:30 BBPマネジメントスタッフ企画「京劇お面作り」	BBPマネジメントスタッフ
48	11月28日 水	18:00-19:30 秋のスイーツパーティ	TISA
49	11月30日 金	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「民族衣装試着体験」	BBPマネジメントスタッフ
50	12月5日 水	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「気軽に行ける中国〜旅行準備の色々」	BBPマネジメントスタッフ
51	12月6日 木	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「春期出発交換留学について知ろう」	BBPマネジメントスタッフ
52	12月6日 木	12:15-12:55 SUP! Talk Fest	SUP!
53	12月12日 木	12:15-12:55 まいる主催留学前企画「Let's get ready for study abroad」	OICまいる
54	12月12日 水	16:30-18:30 BBPマネジメントスタッフ企画「英語でスポーツ」	BBPマネジメントスタッフ
55	12月14日 金	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「世界のお菓子試食会」	BBPマネジメントスタッフ
56	12月19日 水	12:15-12:55 TISA主催クリスマスパーティー	TISA
57	12月20日 木	12:15-12:55 SUP! Talk Festクリスマスパーティー	SUP!
58	12月21日 金	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「楽しいクリスマスパーティー」	BBPマネジメントスタッフ
59	1月9日 水	12:15-12:55 かるた大会	BBPマネジメントスタッフ
60	1月10日 木	12:15-12:55 SUP! Talk Fest	SUP!
61	1月15日 火	12:15-12:55 BBPマネジメントスタッフ企画「大声大会」	BBPマネジメントスタッフ

大学内における学生の正課外活動への支援体制と課題

付録 1.5 2019 年春期 OIC-BBP 実施企画一覧

通し番号	開催日時		企画名	実施主体
1	4/8	月 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター説明会	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
2	4/9	火 12:15-13:00	SUP!説明会	SUP!
3	4/10	水 12:15-13:00	留学支援団体OICまいる説明会	OICまいる
4	4/11	木 12:15-13:00	SBJPパディ説明会	SBJPパディ
5	4/12	金 12:15-13:00	TISA説明会	TISA
6	4/15	月 12:15-13:00	SUP! Talkfest	SUP!
7	4/15	月 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター ボランティア団体紹介	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
8	4/16	火 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター ボランティア団体紹介	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
9	4/17	水 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター ボランティア団体紹介	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
10	4/18	木 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター ボランティア団体紹介	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
11	4/19	金 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター ボランティア団体紹介	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
12	4/22	月 12:15-13:00	サービスマニシングセンター学生コーディネーター説明会	サービスマニシングセンター学生コーディネーター
13	4/24	水 12:15-13:00	留学支援団体OICまいる留学相談会	OICまいる
14	4/25	木 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「留学生とゲームで交流しよう！」	BBPマネジメントスタッフ
15	4/26	金 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「BBPって何？BBPの使い方」	BBPマネジメントスタッフ
16	5/10	金 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「関西弁講座」①	BBPマネジメントスタッフ
17	5/14	火 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「関西弁講座」②	BBPマネジメントスタッフ
18	5/22	水 16:20-17:30	BBPマネジメントスタッフ企画「Cultural talk with coffee」①	BBPマネジメントスタッフ
19	5/24	金 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「夏休みどこ行く？」①	BBPマネジメントスタッフ
20	6/4	火 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「TOEICについて」①	BBPマネジメントスタッフ
21	6/5	水 16:30-18:30	留学支援団体OICまいる「留学フェス@OIC」	まいる
22	6/12	水 12:15-13:00	留学生企画「私の国オーストリア」	学生持ち込み企画
23	6/17	月 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画「TOEICについて」②	BBPマネジメントスタッフ
24	6/19	水 16:20-17:30	BBPマネジメントスタッフ企画「Cultural talk with coffee」②	BBPマネジメントスタッフ
25	6/26	水 12:20-12:50	BBPマネジメントスタッフ企画「歌うま王」	BBPマネジメントスタッフ
26	6/28	金 12:20-12:50	BBPマネジメントスタッフ企画「夏休みどこ行く？②国内旅行編」	BBPマネジメントスタッフ
27	7/1	月 12:20-12:50	BBPマネジメントスタッフ企画Summer Week「折り紙」	BBPマネジメントスタッフ
28	7/2	火 12:15-13:00	SUP! Talkfest	SUP!
29	7/3	水 12:15-13:00	留学生企画「Get to know a gem of SWISS」	学生持ち込み企画
30	7/4	木 16:20-17:30	BBPマネジメントスタッフ企画Summer Week「かき氷」	BBPマネジメントスタッフ
31	7/5	金 12:15-13:00	BBPマネジメントスタッフ企画Summer Week「スイカ割り」	BBPマネジメントスタッフ

付録 2. 各キャンパスの学生スタッフ状況

	マネジメントスタッフ					
	キャンパス	応募数	採用数	日本人学生	留学生	国籍
2018年春	KIC	33	15	8	7	中国、米国、英国、 韓国、モンゴル
	BKC	27	15	11	4	中国、タイ、韓国
	OIC	14	13	6	7	中国、台湾、韓国
2018年秋	マネジメントスタッフ					
	キャンパス	応募数	採用数	日本人学生	留学生	国籍
	KIC	22	15	13	2	中国、韓国
BKC	19	12	11	1	韓国	
OIC	15	14	9	5	中国	
	プロジェクトチーム					
	キャンパス	応募数	採用数	日本人学生	留学生	国籍
	KIC	26	23	21	2	中国、韓国
BKC	9	9	8	1	韓国	
2019年春	マネジメントスタッフ					
	キャンパス	応募数	採用数	日本人学生	留学生	国籍
	KIC	20	15	12	3	中国、韓国、マカオ
BKC	10	10	9	2	中国、韓国	
OIC	16	16	11	5	中国、韓国	
	プロジェクトチーム					
	キャンパス	応募数	採用数	日本人学生	留学生	国籍
	KIC	31	27	19	8	中国、韓国、台湾、 マカオ、アメリカ、カナダ
BKC	10	10	8	2	中国	

Supporting Students' Extra-Curricular Activities in University Settings: Learnings and Challenges Based on BBP

KANDUBODA, P. B. (Associate Professor, Ritsumeikan International, Ritsumeikan University)

ISHIKAWA Ryoko (Associate Professor, Ritsumeikan International, Ritsumeikan University)

FUDEUCHI Misa (Shokutaku Lecturer, Ritsumeikan International, Ritsumeikan University)

MURAYAMA Kanae (Shokutaku Lecturer, Ritsumeikan International, Ritsumeikan University)

HAGAI Saori (Associate Professor, Ritsumeikan International, Ritsumeikan University)

Abstract

This paper aims to share the knowledge of students' support for extra-curricular activities in the Japanese university settings. The study focuses on a newly started activity, Beyond Borders Plaza, in Ritsumeikan University campuses. This initiative started in the spring of 2018 with the policy of further enhancing the system for promoting student learning and exchange on campus. The paper mainly reports about the support offered by the teachers for students to manage the plaza and conduct language, cultural, and academic exchange events. We hope that the accumulation of its activities will be linked to enhance students' classroom learnings and developing careers in the future as a part of "Ritsumeikan Learning Model."

Keywords

Beyond Borders Plaza, extra curricula activities, student autonomy, peer-support, international exchange support, teacher support

